

第67回「ハートミーティング」意見交換の内容について 「真のワーク・ライフ・バランス」に資する活動を表彰する制度の被表彰者

★市長からのコメント

- 職場ではコミュニケーションを図り、仕事の状況や予定、課題意識はもちろん、子育てや介護といった個人の状況を情報共有し、チームとして仕事に取り組むことが大切。各々の職場で進めてもらっている「真のワーク・ライフ・バランス」を推進する先進的な取組は是非、全庁で共有し、取り入れてもらいたい。

- 地域にはたくさんの「先生」がいる。私自身、地域活動では、民間ならではの発想や、町内会・自治会運営の難しさを学び、かけがえのない人脈を得られた。
地域参加は自分自身の学びになることも多く、仕事と生活が響き合い、調和することで、人生が豊かに向上すると感じながら話を聞かせてもらった。

- 私自身も含め上司側も、イメージを明確に伝え、意思決定を迅速化し、効率的に実行するという意識を、一緒に「真のワーク・ライフ・バランス」を推進していきたい。

- 効率的に仕事を進め、生み出した時間で、是非「文化」にも親しんでもらいたい。文化庁の移転は、「文化」を学ぶきっかけであり、職員の皆さんが率先して、京都でしか味わえないような、生活の中で「文化」に触れる機会を増やしてほしい。

- 市民の皆様と市の職員が共に学び、共に京都のまちの成長を担っていけるよう、皆さんに先頭となって切り拓いてもらいたい。

★参加メンバーからの主な声

- 他の参加者が、組織改革や地域貢献等、素晴らしい成果を挙げており、大変参考になりました。今後は模範となる行動を取りつつ、組織改革や地域貢献についても、もっと積極的に動いていこうと思います。

- 他の参加者から、業務のロスを生じさせるコミュニケーション不足の解消に向け、取り組んでいることや、業務の効率化を図るため工夫していることなどが聞け、参考になりました。加えて、市長の熱い思いやお考え等を肌で感じることができ、大変有意義な時間になりました。

- 市長がお話しされた、地域に根差した人になる、文化を愛でる人になるというのは、今後の生活で実践していきたいと思いました。

- ワークとライフもつながっている部分があると思うので、仕事と家庭を分けるのではなく、子育てや地域活動の経験を仕事にも役立てていくことが大切であると感じました。

- 「真のワーク・ライフ・バランス」の取組を全庁的に広げるために、何ができるか、どうすれば良いのか、引き続き考えていこうと思いました。